

研修名	専門課程 河川環境 【ハイブリッド】 (令和6年度～) (昭和43～平成15年度:「河川環境」、平成16～18年度:「河川環境Ⅰ、Ⅱ」、平成19～20年度:「河川環境(係長級)」、「河川環境(課長補佐級)」、平成21～23年度:「河川環境」、平成24～令和5年度:「河道計画・環境」、令和3～5年度迄コース設定)					事務	技術
							○
目的・重点事項	<p>河道の設計・施工・管理それぞれの分野において、環境保全に必要な専門知識や河川空間とまちづくりが融合した賑わいのある良好な空間形成に関する専門知識を学び、河川管理における環境の保全・創出、河川を基軸とした生態系ネットワークの形成、水辺を活用したまちづくりに関して適切に実施できる技術を修得することを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 河川環境行政の現状と課題、河川行政全般に関する知識の修得</p> <p>② 河川管理における環境の保全・創出方策及び河川を基軸とした生態系ネットワークの形成に関する専門知識の修得</p> <p>③ 水辺を活用したまちづくりに関する必要な専門知識の修得</p>						
対象者	<p>国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、中核市又は独立行政法人等の技術系職員で、河川に関する業務を担当し次のいずれかに該当する者</p> <p>① 地方整備局本局・事務所・出張所の係長又はこれと同等の職にあると認められる者</p> <p>② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者</p>						
定員(人) ※目安	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計	
	15	1	8	1		25	
研修期間	42.0時間 7日間			令和6年 6月13日(木)～ 令和6年 6月21日(金)			
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義 (26.5) 24.5 河川環境行政の現状と課題、多自然川づくりの技術、治水と環境の調和を考慮した河道計画・設計・維持管理、土砂動態と河川環境、河川環境管理シートによる河川環境の捉え方、地域と協働した川づくり、川の景観の捉え方とデザイン、エコロジカルネットワークの社会経済的意義、これからの水辺利用と広報戦略等</p> <p>2. 課題研究 (9.5) 11.5 大河川・中小河川をモデルとした、多自然川づくり案について(予定)</p> <p>3. 現場実習 多摩川「治水と環境の調和」を予定(4.0)</p> <p>4. その他 (2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス 計 42.0</p>						
前年度からの 主な変更点	開催時期変更(7月→6月)、コース制廃止						
担当 国交大・本省	国交大:建設部 建設第一科 (TEL:042-321-0645) 本省:水管理・国土保全局 河川環境課						
備考	テキスト代(予定)35,000円 オンライン:6月13日～14日、集合:6月17日～6月21日						

